

REPS 設置マニュアル

このマニュアルについて

このマニュアルは、REPS 設置マニュアルです。REPS の導入方法を手順を追って詳細に記述しています。

おもにシステム運用者様を対象としています。

REPS のインストールから公開までの流れ

システム要件の確認



インストールの準備



インストール



REPS 動作テスト



各種カスタマイズ



公開

システム要件

必要な環境

Perl による CGI スクリプトを実行できるサーバ

REPS は、Perl/CGI が使える一般的なレンタルサーバで動くように作られています。

*ウェブ・サーバ(Apache HTTP Server)は、Unix 系オペレーティング・システム向けのものを推奨します。

*Perl バージョン 5.005_03 以上 (5.6.1 以上推奨)で動作します。

(5.6.0 では Perl に不具合が多い為、REPS は正常には動作しません)*¹

アプリケーションのサイズは約 4MB です。そのほか、物件データを保持するのに 20MB 以上のハードディスク空き容量を推奨します。

FTP クライアント

ウェブ・サーバに REPS をインストールし、運用を管理するために必要です。

(例:FFFTP など)

文字コードや改行コードを指定できるテキストエディタ

設定ファイルを書き換えるために必要です。文字コードや改行コードを指定して保存するのに便利です。

(例:秀丸、K2Editor など)

ウェブ・ブラウザ

以下のブラウザでの動作を確認しています。

Firefox (Linux 版、Windows、Mac 版)、Opera、Safari、Internet Explorer6 と 7 (Windows 版)、Konqueror

インストールの準備

Perl へのパスの確認

サーバ上で Perl スクリプトを実行するために、Perl へのパスを正しく指定する必要があります。また、Perl スクリプトに実行権限(パーミッション)を付与する必要があります。Perl へのパスや実行権限(パーミッション)の付与のしかたについては、ホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

REPS では、「#!/usr/bin/perl」が初期値です。ほとんどの場合は変更の必要はありませんが、レンタルサーバによっては、複数のバージョンの Perl がインストールされている場合や、初期値と異なる場合がありますので、必要に応じて、インストール手順 1 で説明する方法で設定してください。

sendmail へのパスの確認

REPS システムからメール送信の機能を利用するために、sendmail が使用できることを確認する必要があります。また、sendmail へのパスを正しく指定する必要があります。sendmail へのパスについては、ホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

REPS では、「/usr/sbin/sendmail」が初期値です。ほとんどの場合は変更の必要はありませんが、初期値と異なる場合は、インストール手順 3 で説明する方法で設定してください。

*1 Perl 5.6.0 には致命的な障害がありますので、Perl5.6.1 以降を推奨します。

インストール

1. Zip 圧縮ファイルを解凍します。

ファイル構成は以下のとおりです。

index.html	トップページ(サンプル)
LICENSE.txt	ライセンス文書
print.css	印刷ページ用の CSS
site-styles.css	デザインの CSS
app/	
backup/	バックアップ・復元用ディレクトリ
db/	データベース保存用ディレクトリ
export/	エクスポート用ディレクトリ
extlib/	外部モジュールディレクトリ
import/	インポート用ディレクトリ
lib/	REPS 用モジュールディレクトリ
system/	
static/	管理画面用 CSS ファイル配置ディレクトリ
icons/	管理画面用 アイコン ファイル配置ディレクトリ
templates/	管理画面用テンプレートファイル配置ディレクトリ
templates/	一般用検索ページ用テンプレートファイル配置ディレクトリ
mobile.cgi	携帯用検索
reps.cgi	管理画面へのログイン
reps-config.cgi.default	デフォルトの設定ファイル
reps-mod-check.cgi	モジュールチェック用
search.cgi	一般向け検索
site.cgi	その他「汎用お問い合わせフォーム」等 (オプション)

Perl へのパスが初期値と異なる場合の設定方法について

ほとんどの場合は変更の必要はありませんが、Perl へのパスが `#!/usr/bin/perl` ではない場合、`reps.cgi`、`search.cgi`、`reps-mod-check.cgi`、`mobile.cgi`、`(site.cgi)` の 1 行目の内容を「`#!/usr/local/bin/perl`」などのように書き換える必要があります。

また、異なるバージョンの Perl が複数インストールされている場合、Perl のバージョンをパスで指定出来る場合があります。その場合、新しいバージョンの Perl を指定してください。例:「`#!/usr/bin/perl5.8`」

ご注意:

CGI ファイルを編集する際は、文字コードや改行コードを指定して保存できるテキストエディタをご利用ください。

CGI ファイル (`reps.cgi`、`search.cgi`、`reps-mod-check.cgi`、`site.cgi`) の文字コードは「EUC」、改行コードは「LF」です。変更すると CGI スクリプトが動作しない可能性があります。文字コードや改行コードを変更しないようにして設定してください。

2. インストール先を決定します。

ここでは、ウェブサイトのトップページが <http://www.example.com/> であり、REPS 本体を、app というディレクトリ (<http://www.example.com/app/>) にインストールする場合を想定して解説します。(インストール先を、<http://www.example.com/cgi-bin/app/> 等にされた場合はサンプルの index.html ファイルのリンクをそれにあわせて適時修正してください。)

3. 設定ファイルを設定します。

```
1 #各種設定を記述する設定ファイルです。↓
2 #ご注意：必ずUTF-8の文字コードで保存してください。↓
3 ↓
4 lang=ja↓
5 #言語です。特に変更する必要はありません。↓
6 ↓
7 charset=UTF-8↓
8 #HTMLページの文字コードです。どうしても変更する必要がない限り、変更しないでください。↓
9 ↓
10 charset_mobile=Shift_JIS↓
11 #携帯用ページの文字コードです。どうしても変更する必要がない限り、変更しないでください。↓
12 ↓
13 #####↓
14 #環境設定↓
15 #####↓
16 ↓
17 site_url=http://www.example.com/↓
18 #サイトのURL (http://ではじまるアドレス) です。テンプレート内でトップページへの移動や↓
19 #CSSや画像ファイルへの参照リンクなどに使います。http://ではじまるURLです。↓
20 #最後に必ず/を付けてください。↓
21 ↓
```

秀丸で開いた例：

1. reps-config.cgi.default をコピーして、reps-config.cgi へファイル名を変更します。
2. 文字コードを指定して保存できるテキストエディタで開きます。(図参照)
一般的なテキストエディタにはメニューとして「ファイル」-「開く」が用意されています。これを使用して、reps-config.cgi を指定します。
3. 設定ファイルの内容を、ご使用のサーバにあわせて書き換えます。
以下の項目は必ず変更してください。

項目名	初期値	説明
site_url	http://www.example.com/	サイトの URL (http:// ではじまるアドレス) です。 テンプレート内でトップページへの移動や CSS ファイルへのリンクなどに使います。 最後に必ず/を付けてください。
cgi_url	http://www.example.com/app/	CGI 実行ファイル (reps.cgi, search.cgi) が存在する、 http:// ではじまる URL です。 最後に必ず/を付けてください。
static_url	http://www.example.com/app/system/static/	レンタルサーバーの設定によって、cgi 実行ディレクトリでは css などのファイルを実行しようとしてしまうため、別ディレクトリに css 等を含んだ static ディレクトリを指定できます。 最後に必ず/を付けてください。
db_path	./db/	データベースを保存するディレクトリパス。 最後に必ず/を付けてください。非公開ディレクトリが望ましいです。
sendmail_path	/usr/sbin/sendmail	メール送信プログラム sendmail までのパス。 サーバ毎に確認してください。

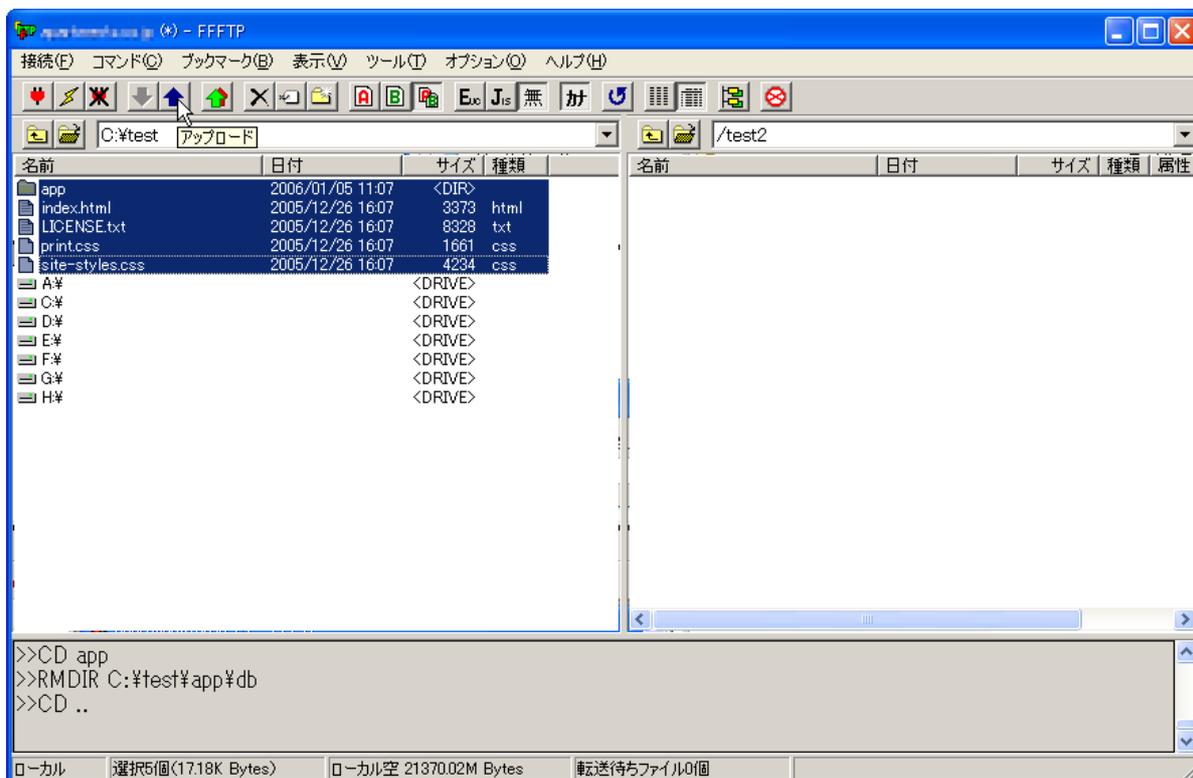
その他の項目に関しては、巻末の「設定ファイル項目一覧」を参照してください。

ご注意：

設定ファイルの文字コードは「UTF-8」です。変更するとCGIスクリプトが動作しない可能性がありますので、必ずこの文字コードで保存してください。

4. アップロードします。

FTPクライアントソフトウェアでファイルを全てアップロードします。



FFFTP の例:

下記のファイルを除き、全てのファイルをテキストモード(アスキーモード)でアップロードしてください。

バイナリモードでアップロードする必要があるファイル

app/extlib/Unicode/Japanese.pm

と

app/system/static/icons/

内の全てのファイル

ご注意:

既にトップページ(index.html)が存在している場合は、上書きしないようにお気をつけください。

5. 実行権限(パーミッション)を設定します。

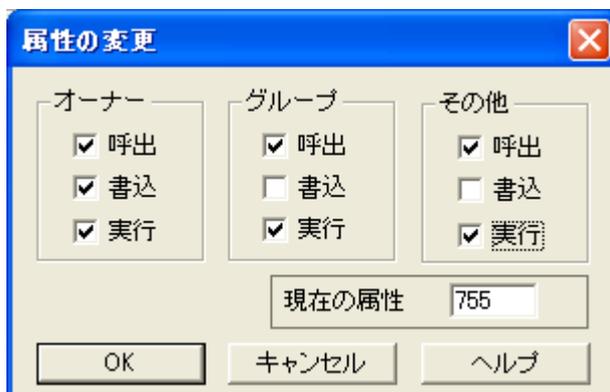
reps.cgi、search.cgi、reps-config.cgi、reps-mod-check.cgi、mobile.cgi の実行権限(パーミッション)を設定します。(汎用お問い合わせフォームを利用する場合は site.cgi も)

FFFTP では以下のように設定します。

1. ホスト側の reps.cgi、search.cgi、reps-config.cgi、reps-mod-check.cgi、mobile.cgi を(汎用お問い合わせフォームを利用する場合は site.cgi も)選択して、右クリックし、コンテキストメニューを表示させます。
2. コンテキストメニューから「属性変更」を選択します。



3. 属性を変更します。
実行権限を 755 に指定するには、以下のようにします。



確認:

実行権限の設定方法はレンタルサーバ毎に異なる場合があります。
詳細はホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

6. CGI 動作環境チェックを実行します。

CGI 動作とモジュール環境チェック (reps-mod-check.cgi) を実行し、CGI の動作環境のチェックを行います。Web ブラウザで <http://www.example.com/app/reps-mod-check.cgi> へアクセスします。実行の結果、「必要なモジュールがインストールされていることが確認されました。」というメッセージが表示されれば、CGI の動作と REPS に必要なモジュールが存在することが確認できたこととなります。

確認:

レンタルサーバによっては、CGI の動作を `cgi-bin` などの特定のディレクトリに限っていることがあります。また、`cgi-bin` ディレクトリ内では、画像や CSS ファイルを置けない場合もあります。詳細はホスティング・サービスのサポート・ページなどを参照してください。

7. データベースを初期化します。

Web ブラウザで <http://www.example.com/app/reps.cgi> へアクセスします。初期化画面が表示されます。

REPS::物件管理画面

データベースの初期化を行います。初期パスワードとユーザーIDを登録してください。

ユーザーID:

パスワード:

パスワード(確認):

REPS :: "The Real Estate Portal System" Version 1.1 - Witha System Ltd (2006)

ここでは、管理者ユーザーを作成します。ユーザー ID とパスワードを入力してください。パスワードは確認のため、2 回入力します。登録ボタンをクリックすると、登録されます。

確認:

初期化画面が上記サンプル画像のようにならず、スタイル付けされずに(表題の文字色・枠の色がサンプルと異なる、など)表示されてしまう場合は、まずすべてのファイル類が正しくアップロードされているかをご確認ください。

これらのファイルが正しくアップロードされているにもかかわらず、スタイル付けされずに表示されてしまう場合には、スタイル付けに必要な CSS ファイルや HTML テンプレートを認識していないことが考えられます。設定ファイルの「`static_url`」の項目を変更し、`app/system/static` ディレクトリをそこに移動し、設定する必要があります。

たとえば、
`static_url=http://www.example.com/www/static/`
のように設定します。

REPS::物件管理画面

セットアップ完了しました。設定したユーザー名とパスワードでログインし、[会社情報](#)と[ユーザー情報](#)を設定してください。

REPS :: "The Real Estate Portal System" Version 1.1 - Witha System Ltd (2006)

「会社情報」または「ユーザー情報」のリンクをクリックすると、ログイン画面が表示されます。管理者ユーザーのユーザー ID とパスワードでログインしてください。

ログイン後、会社情報及びユーザ情報を入力して登録します。

REPS::物件管理画面 ユーザー: admin [管理者]
ログアウト

メインメニュー > [管理メニュー] 会社情報編集

賃貸:住居用
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)
• [物件検索](#)

賃貸:事業用
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)
• [物件検索](#)

売買:土地
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)
• [物件検索](#)

売買:マンション
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)
• [物件検索](#)

売買:一戸建て
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)

会社情報

会社名:	<input type="text"/>
所在地:	<input type="text"/>
免許番号:	<input type="text"/>
管理者名:	<input type="text"/>
電話番号:	<input type="text"/>
メールアドレス:	<input type="text"/>

すべての問い合わせメールのコピーをBCCで管理者宛に送る。

問い合わせメールの送信先メールアドレスを指定
指定をしないと会社情報で登録したメールアドレスに送信されます。

賃貸物件の問い合わせ:	<input type="text"/>
売買物件の問い合わせ:	<input type="text"/>

更新

REPS::物件管理画面 ユーザー: admin [管理者]
ログアウト

メインメニュー > ユーザー情報編集

賃貸:住居用
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)
• [物件検索](#)

賃貸:事業用
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)
• [物件検索](#)

売買:土地
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)
• [物件検索](#)

売買:マンション
• [新規物件追加](#)
• [登録物件一覧](#)

ユーザー情報

ID:	admin
パスワード:	<input type="text"/>
新パスワード(変更時のみ):	<input type="text"/>
新パスワード(確認のため):	<input type="text"/>
担当者名:	<input type="text"/>
メールアドレス:	<input type="text"/>

お好みの初期値

敷金の単位の初期値は、 にしておく。

礼金の単位の初期値は、 にしておく。

更新

REPS 動作テスト

管理画面からサンプル物件登録

管理画面から賃貸::住居用の「新規物件追加」をクリックします。



新規物件追加画面が表示されます。登録の必須項目は背景色が■で表示されています。各項目を入力します。たとえば、賃料を「¥50,000」と入力してみましょう。

物件名:	サンプル物件A
部屋番号:	
物件所在地:	東京都
最寄駅 1:	聖蹟桜ヶ丘駅
駅徒歩 1:	20 分
バス停名 1:	
バス分 1:	
停歩 1:	
最寄駅 2:	
駅徒歩 2:	
バス停名 2:	
バス分 2:	
停歩 2:	
賃料:	50000 円
共益費/管理費:	

この際、画像などの登録(アップロード)が出来るかも確認してください。パーミッションの設定や、サムネイル生成モジュールの確認が必要となる場合がございます。

「公開する」チェックボックスをオンにし、「新規追加」ボタンをクリックします。

他社情報 他社管理物件

会社名:

電話番号:

公開する **新規追加**

「追加されました。」のメッセージを確認します。

一般画面へのアクセスと検索

Webブラウザで <http://www.example.com/index.html> へアクセスし、「賃貸物件検索」をクリックします。検索条件を指定して検索します。



サンプル物件の登録で、賃料を「¥50,000」と入力した場合は、賃料の上限値を「5.0万円」などに設定して「指定した条件で検索する」ボタンをクリックすると、サンプル物件がヒットします。

<input type="checkbox"/> 住居用検索 <input type="checkbox"/> 事業用物件検索	
住所:	<input type="text"/>
物件種別:	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> マンション <input type="checkbox"/> 一戸建て <input type="checkbox"/> テラスハウス
賃料:	下限なし <input type="button" value="v"/> ~ <input type="text" value="5.0万円"/> <input type="button" value="v"/> <input type="checkbox"/> 共益費/管理費を含む <input type="checkbox"/> 礼金なし <input type="checkbox"/> 敷金なし
間取り:	<input type="checkbox"/> フルルーム <input type="checkbox"/> 1K <input type="checkbox"/> 1DK <input type="checkbox"/> 1LDK <input type="checkbox"/> 2K <input type="checkbox"/> 2DK <input type="checkbox"/> 2LDK <input type="checkbox"/> 3K <input type="checkbox"/> 3DK <input type="checkbox"/> 3LDK <input type="checkbox"/> 4K <input type="checkbox"/> 4DK <input type="checkbox"/> 4LDK以上
面積:	下限なし <input type="button" value="v"/> ~ 上限なし <input type="button" value="v"/> ※「m ² 」は「平米」と同じです
築年数:	指定なし <input type="button" value="v"/>
駅徒歩分:	指定なし <input type="button" value="v"/>
画像:	<input type="checkbox"/> 間取り図あり <input type="checkbox"/> 画像あり <input type="checkbox"/> 動画あり
詳細条件:	位置 <input type="checkbox"/> 1階 <input type="checkbox"/> 2階以上 <input type="checkbox"/> 最上階 <input type="checkbox"/> 角部屋 <input type="checkbox"/> 南向き
	設備 <input type="checkbox"/> オートロック <input type="checkbox"/> エレベータ <input type="checkbox"/> TVドアホン <input type="checkbox"/> バス・トイレ別 <input type="checkbox"/> エアコン <input type="checkbox"/> ロフト付き <input type="checkbox"/> フローリング <input type="checkbox"/> 追い炊き
	<input type="checkbox"/> ガスコンロ <input type="checkbox"/> 室内洗濯機置場
	<input type="checkbox"/> CATV <input type="checkbox"/> CSアンテナ <input type="checkbox"/> BSアンテナ
他	<input type="checkbox"/> 駐車場有 <input type="checkbox"/> ペット相談 <input type="checkbox"/> 保証人不要有 <input type="checkbox"/> 楽器相談 <input type="checkbox"/> 事務所可
近隣学校:	<input type="text"/>
最寄り駅:	<input type="text"/>
<input type="button" value="指定した条件で検索する"/>	

一般画面の検索結果・お問い合わせで、管理画面側で設定したメールアドレスにメールが配信されることを確認します。

検索結果画面でサンプル物件がヒットしたら、「詳細」リンクをクリックします。登録した内容が整形されて表示されていることを確認します。

[前の0件 次の0件]					
物件種別	最寄駅 所在地	賃料 バス・徒歩	敷金・礼金 管理費等	間取り面積m ² 最終更新日	詳細
一戸建て	聖蹟桜ヶ丘駅 東京都	50,000円	-- --	2DK-- 2006/04/07	詳細 <input type="button" value=""/>

[前の0件 | 次の0件]

[選択した物件の詳細を表示](#)

そののち、「この物件についてお問い合わせ」ボタンをクリックします。

この物件についてお問い合わせ					
物件番号: RL000002					
所在地	東京都 (付送の地図)			オートロック	<input type="checkbox"/>
交通	聖蹟桜ヶ丘駅 --- 徒歩20分			エレベーター	<input type="checkbox"/>
				南向き	<input type="checkbox"/>
賃料	50,000円	敷金	--	バスタイレ別	<input type="checkbox"/>
物件種別	一戸建て	礼金	--	エアコン	<input type="checkbox"/>
間取り	2DK	保証金	--	TVフォン	<input type="checkbox"/>
間取り内訳		敷引		泊り、炊事	<input type="checkbox"/>

お名前、電話番号など必要な情報を入力して「お問い合わせ送信」ボタンをクリックします。

聖蹟桜ヶ丘駅	50,000円	-- --	2DK--
東京都	-- -- -- --	--	2006/04/07

上記1物件について問い合わせメールを送信します。

お名前:

電話番号:

メールアドレス:

お問い合わせ文:

連絡方法: ご希望の連絡方法は、メール 電話 どちらでも

お問い合わせメールは、「会社情報」画面で登録したメールアドレス向けに配信されます。メールが届いたことを確認してください。

管理画面からサンプル物件削除

メールが正しく配信されたことを確認したら、サンプル物件を削除します。
管理画面から賃貸::住居用の「登録物件一覧」をクリックし、「削除」チェックボックスをチェックして、「削除」ボタンをクリックします。

1件中1～1件を表示しています。

物件名	賃料	状態	削除
所在地	最終更新日		
サンプル物件A [RL000002]	50,000円	公開	<input checked="" type="checkbox"/>
東京都	2006/04/07		

表示件数 ▼

すべてチェックする すべてチェックを外す **削除**

サンプル物件が正しく削除されたことを確認します。

これで REPS 動作テストは終了です。

テンプレートとCSSのカスタマイズ

一般向けのページはカスタマイズすることができます。
詳細は別冊の「管理・カスタマイズ マニュアル」を参照してください。

■お知らせ

ご利用の前にライセンスファイルをご一読ください。
今後とも改善を図りたいと考えておりますので、ご意見、ご指摘等いただければ幸いです。

■動作確認済みレンタルサーバー

ロリポップ(月額263円から)

<http://lolipop.jp/>

★★★★

さくらインターネット(月額125円から)

<http://www.sakura.ad.jp/>

★★★★

ウェブアリーナ Suite2(月額3,360円から)

<http://web.arena.ne.jp/>

★★★

ファーストサーバー(月額2,940円から)

<http://www.fsv.jp/>

★

(ギガント以前のプランは、Perl が古いです。ImageMagick がありません)

他

■Mod_Perl環境について

サポート外ではありますが、REPSはmod_perl(registry)環境で動作させてパフォーマンスの向上を図る事が可能です。

mod_perl環境で動作させるには、以下の通り、幾つか特別な作業が必要となります。

注:mod_perlの設定は済んでいる前提です。

(1)設定ファイルにて、パスの記述をフルパスで記述する。

(2)モジュールを適切な場所に配置する。

個々の設定にもよりますので、下記は一例です。

例:

```
/srv/www/perl-lib/
```

内に、「extlib」フォルダと「lib」フォルダの中身を移動させる。

その他のファイルは、通常通り、

```
/srv/www/cgi-bin/rebs/app/
```

内に、

db

export

import

system

templates

各フォルダ

*.cgi

をコピー。

```
/srv/www/htdocs/
```

内に、HTML

管理画面用のアイコンやCSSファイル

```
/srv/www/htdocs/app/system/static/
```

内に、

icons

*.css

をコピー

*httpd.confなどで、下記のようにmod_perlの設定が完了している必要があります。

```
PerlRequire "/etc/apache2/mod_perl-startup.pl"
```

```
ScriptAlias /perl/ "/srv/www/cgi-bin/"
```

```
<Location /perl/>
```

```
  # mod_perl mode
```

```
  SetHandler perl-script
```

```
  PerlResponseHandler ModPerl::Registry
```

```
  PerlOptions +ParseHeaders
```

```
  Options +ExecCGI
```

```
</Location>
```

■設置トラブル 時のチェックリスト

Internal Server Error 500

○ Perl へのパス

Perl へのパスは間違ありませんか？

レンタルサーバーに掲載されている情報を確認されましたか？何か特別な指定が必要な場合も御座います。

```
#!/usr/local/bin/perl5.8
```

なのに、

```
#!/usr/local/bin/perl5.8
```

としてしまっていないませんか？

○ パーミッション

実行権限を正しく設定しましたか？

レンタルサーバー毎に異なる場合がありますのでご確認ください。

○ FTP 転送もれ

FTP で一つでもファイルが転送されずにいると、動作しない場合があります。FTP ソフトのログで転送失敗がないかどうかご確認ください。

○ Perl のバージョンの確認

REPS(を含めた多くのプログラム)は、Perl**5.6.0**では動きません。Perl**5.6.1**以上にアップグレードしてください。レンタルサーバーをご利用であれば、別のプランや会社のサービスに乗り換える必要が御座います。

■設定ファイル項目一覧

項目名	初期値	説明
lang	ja	言語です。変更する必要はありません。
charset	UTF-8	HTML ページの文字コードです。どうしても変更する必要がない限り、変更しないでください。
site_url	http://www.example.com/	サイトの URL (http://ではじまるアドレス) です。テンプレート内でトップページへの移動や CSS ファイルへのリンクなどに使います。 最後に必ず/を付けてください。
cgi_url	http://www.example.com/app/	CGI 実行ファイル (reps.cgi、search.cgi) を呼び出す、http://ではじまる URL。 最後に必ず/を付けてください。
static_url	http://www.example.com/app/system/static/	レンタルサーバーの設定によって、cgi 実行ディレクトリでは css などのファイルを実行しようとしてしまうため、別ディレクトリに css 等を含んだ static ディレクトリを指定できます。 最後に必ず/を付けてください。
site_path	../	サーバーのディレクトリパス。/ではじまる。 例: /home/hoge/public_html/reps/app/ CGI 本体からの相対パスでも OK です。 最後に必ず/を付けてください。
db_path	./db/	データベースを保存するディレクトリパス。 最後に必ず/を付けてください。
tmpl_path	./templates/	テンプレート用のディレクトリパス。 最後に必ず/を付けてください。
sendmail_path	/usr/sbin/sendmail	メール送信プログラム sendmail までのパス。サーバ毎に確認してください。
resource_directory	images/	物件の写真などを保存するディレクトリ名。パスではなく、ディレクトリ名です。ディレクトリは、site_path で指定したディレクトリ内に作られます。 最後に必ず/を付けてください。
max_file_upload_size_in_kb	900	アップロードファイルの最大ファイルサイズ。 単位:KB
items_per_page	10	検索結果等の 1 ページ表示物件数
items_per_page_mobile	5	携帯用ページでの検索結果等の 1 ページ表示物件数
db_serializer	Storable	データをシリアライズする形式を指定します。Storable または Data::Dumper を指定してください。一度指定した系式でデータベースを作成したら変更できません。Storable の方が高速です。
NetPBMPATH		サムネイル生成の画像処理ツール ImageMagick が利用出来ない環境で、代わりに NetPBM が使える場合、NetPBM へのパスを指定してください。 例:

項目名	初期値	説明
		「/usr/local/netpbm/bin」「/usr/bin」「/usr/local/bin」 NetPBM 利用時の制限として、元画像はリサイズされず、変換後すべて JPEG 形式で保存されます。
send_confirmation	Off	お問い合わせメールを受け付けた際、自動で、お問い合わせ元のメールアドレスに確認メールを送ります。
independent_users	Off	On にすると、ユーザーごとに物件情報を分離します。別ユーザーが登録した物件は変更できなくなります。また、会社情報も別途表示し、お問い合わせメールも、物件登録ユーザーのメールアドレスに送られます。 通常一社で使いますので、Off で結構です。
syndicate	On	On にすると、更新された物件情報の Atom ファイルを生成します。物件情報が変更される度に更新されますので、物件数が多く、動作が遅くなる場合は Off にした方がよい場合があります。
detailed_stat	On	On にすると、管理画面の統計情報のアクセス履歴とお問い合わせ履歴で、物件へのリンクと個々の物件毎の回数が表示されます。 物件数が多く、動作が遅くなるような場合は Off にすると良いでしょう。
recommend_static_filename		例: test.html #HTML ファイル名を指定すると、お薦め物件を表示する静的 HTML ページを生成します。 #物件数が多く、動作が遅くなる場合は指定しない方がよい場合があります。
recommend_static_rl	Off	#On にすると、賃貸住居用物件のお薦め物件データを生成します。
recommend_static_rb=	Off	#On にすると、賃貸事業用物件のお薦め物件データを生成します。
recommend_static_bl	Off	#On にすると、売買土地用物件のお薦め物件データを生成します。
recommend_static_bm	Off	#On にすると、売買マンション物件のお薦め物件データを生成します。
recommend_static_bh	Off	#On にすると、売買一戸建て物件のお薦め物件データを生成します。
recommend_static_bb	Off	#On にすると、売買投資用物件のお薦め物件データを生成します。
recommend_static_display_limit		#お薦め物件を表示する HTML ページで、表示する物件数の制限します。数字で指定します。 #例: 5
DBUmask		suEXEC の環境にて、指定する必要がある場合は各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例: 0022

項目名	初期値	説明
HTMLUmask		suEXEC の環境にて、指定する必要がある場合は各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例:0022
UploadUmask		suEXEC の環境にて、指定する必要がある場合は各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例:0022
DirUmask		suEXEC の環境にて、指定する必要がある場合は各レンタルサーバー等のマニュアルに従って指定してください。 例:0022
r_visible	On	Offにすると、管理画面にて、賃貸を全て非表示にします。
rl_visible	On	Offにすると、管理画面にて、賃貸::住居用を非表示にします。
rb_visible	On	Offにすると、管理画面にて、賃貸::事業用を非表示にします。
b_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買を全て非表示にします。
bl_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::土地を非表示にします。
bm_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::マンションを非表示にします。
bh_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::一戸建てを非表示にします。
bb_visible	On	Offにすると、管理画面にて、売買::投資用を非表示にします。